

# 令和元年度 京都三山の森再生業務 受託候補者募集要項



- 応募期間  
令和元年10月 1日（火）から令和元年10月15日（火）まで  
※ 応募書類は、直接お持ちください。
  
- 受付及び問合せ先  
京都市産業観光局農林振興室林業振興課（担当 三井，佐野）  
〒604-8571  
京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地  
TEL：075-222-3346 FAX：075-221-1253  
Eメール：ringyosinko@city.kyoto.lg.jp

令和元年10月

京都市産業観光局農林振興室林業振興課

## 1 目的

---

市内の一部人工林等において、社会的要因※1、物理的要因※2、生物的要因※3から、景観の悪化や生物多様性の劣化に加え、豪雨による倒木や土砂流出等の増加も懸念されている。本業務は、このような森林の有する多面的機能が低下している状況を回復させるため、京都市三山景観保全・再生ガイドライン（平成23年5月都市計画局策定）に準じて、本市がモデル的に森林再生に取り組むものである。

- ※1 木材需要や価格の低迷、担い手不足等、林業を取り巻く環境が厳しくなっていること
- ※2 急傾斜及び地質等の立地条件が悪く生育不良となっていること
- ※3 シカ等の獣による食害や外来植物の繁茂等により森林の健全な再生が困難であること

## 2 業者選定の趣旨

---

景観の形成、土壌流出の防止、生物多様性の保全等、森林の有する多面的機能を回復させるためには、その現場に合った樹種の選定や現場の状況に応じて適正な植栽を施し、さらには、シカ等の食害に効果的な対策を講じること等が必要である。

そのためには、表層地質や地形の凹凸などの森林立地条件※をはじめとする専門的な知識があり、森林の有する多面的機能を回復させるための森林整備の実施計画書の作成と、これに基づく森林整備を行うことができる技術力を有し、これらを総合的に実行できる能力が求められる。

特に、木の特徴を捉え、現場の状況に応じた苗木の組み合わせ方や木の生長を踏まえた植栽配置のデザイン力や技術力は極めて重要となる。

したがって、価格だけではなく、これらを提案でき実行能力のある相手方を選定する必要があることから、公募型プロポーザル方式による業者選定を行うものである。

- ※ 森林立地条件
  - ・表層地質（花崗岩、泥岩、変成岩、チャート等）
  - ・地形の凹凸（凸型、凹型）
  - ・堆積区分（残積土、匍行土、崩積土）
  - ・斜面勾配（30°未満、30°以上）
  - ・表層土粒径（粘性土、細粒土、礫質土、岩盤節理）
  - ・斜面方位（東、西、南、北）など

## 3 実施箇所及び森林の現況

---

### (1) 実施箇所

京都市右京区嵯峨越畑天慶17-3, 22

### (2) 対象面積

2.0ha

※ 実施箇所のうち本業務（森林整備）の対象とする面積

### (3) 森林の現況

#### ア 植生

当該区域は、ヒノキを中心とする人工林植生が大部分を占めるほか、平坦部の狭い範囲と急斜面地に旧アカマツ・コナラ林と旧薪炭林が遷移した落葉広葉樹林が見られる。

ほぼ全域が著しいシカの食害を受けており、低木層、草本層ともに、シカの不嗜好

性樹種が占めている。なお、ヒノキにより林冠がほぼ閉鎖しているところでは草本層はほとんどみられない。

#### イ 表層地質

主に崩積性基盤によって形成されており、土層厚は極めて厚いが、土質はやや緻密である。

表層地層は泥岩及びチャートで構成され、チャート礫の多い場所と泥岩風化物のみからなる場所とに二分される。

#### ウ 社会的特性

南向きの大きな傾斜面地形を有し、農地、森林としても様々な利用活性化のポテンシャルがあり、愛宕山南麓部に点在する集落をつなぐひとつの地域経済基盤を作り上げることでできる可能性が高い。

## 4 実施内容

---

### (1) 森林整備の実施

森林の有する多面的機能を回復させ、価値ある森林の育成を図るために、以下に示す森林目標像に向けた実施計画書（植栽計画図等）の作成と、これに基づく森林整備を実施する。

#### ア 森林目標像について

- (ア) 将来、地元の人々等がウルシの原液採取や、漆作家等呼び込み、地元を京漆器の生産販売拠点とするような取組を行うことで、加工業者や京漆器の購入者がウルシの生産地を見学すること等を想定した、付加価値の高いウルシ生産モデル林を育成する
- (イ) 現況のヒノキ林において、今後価値の高くなる可能性の高いヒノキを生育させる長伐期施業を想定したモデル林をつくること

#### イ 基本方針

- (ア) ウルシ原液生産にとどまらず、将来、地元での製品化及び販売拠点づくりまで見据え、新たな観光動線を導き、観光漆産業拠点化を目指す
- (イ) 現況森林のヒノキ林の中で、今後価値の高くなる可能性の高いヒノキのみを残し、手入れの省略化を図る森林づくりをする

#### ウ 留意事項

本業務の実施に当たっては、以下の点に留意すること

- (ア) 使用する苗木については、京の苗木生産協議会と協議のうえで決定すること。
- (イ) 森林整備実施箇所にて、過去の台風により発生した倒木や景観支障木、危険木がある場合は、除伐及び林床整理を適切に実施すること
- (ウ) 植栽する苗木の生長を阻害する高木層、亜高木層がある場合は、択伐及び除伐を実施すること
- (エ) 防鹿対策については、パッチディフェンス型の防鹿柵を基本とし、地形に応じて使用する部材の調節など打込み方に配慮すること
- (オ) 倒木や大枝の落下により防鹿柵が損傷する恐れがある場合は、必要に応じて除伐及び枝おろしを実施すること

- (カ) その他，森林整備に必要な資材については，可能な限り現地にある木竹材等を用いるよう努めること
- (キ) 森林整備を実施した区域については，ポケットコンパス又はデジタルコンパスにより測量すること

## (2) 案内表示板の設置

市民が本業務の森林整備の内容を分かりやすく理解できるよう，以下の表を参考に，視認性が高く，現地の景観に配慮したデザインの案内表示板を1基設置する。なお，設置箇所については本市と協議するものとする。

表 案内表示板の仕様

部材	京都市内産木材（みやこ杣木）
規格	表示面：A3（297mm×420mm） 形状：立て札
特記事項	今後の生産活動等に支障とならない形状とする

## (3) 実施計画策定マニュアルの作成

他地域で森林整備を行う際に，本業務を参考とすることができるよう，本業務における実施計画（事前調査項目や植栽樹種及び植栽箇所の選定理由等）の策定の流れを示したマニュアルを作成すること。

## 5 応募資格

本募集に応募する資格を有する者は，次に掲げる要件をすべて満たすものとする。

- (1) 京都市契約事務規則第4条第2項に規定する一般競争入札有資格者名簿若しくは規則第22条第2項に規定する指名競争入札有資格者名簿に登載されている者であること
- (2) 公募開始日から選定結果の通知の日までの期間に，京都市競争入札等取扱要綱第29条第1項の規定に基づく競争入札参加停止の期間が含まれていないこと

## 6 応募手続等

### (1) 受付・問合せ先

京都市産業観光局農林振興室林業振興課（担当 三井，佐野）  
〒604-8571  
京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地  
TEL：075-222-3346 FAX：075-221-1253  
Eメール：ringyosinko@city.kyoto.lg.jp

### (2) 応募期間及びスケジュール

#### ア 応募期間

- 令和元年10月 1日（火）から令和元年10月15日（火）まで  
 ※ 土日，祝日除く，午前8時45分から午後5時30分までとする。  
 ※ 応募書類の提出は，直接持込に限る。

#### イ 現地視察

令和元年10月 2日（水），令和元年10月 3日（木）のいずれかの日で本市

職員の案内により行うものとする。なお、別日での視察も相談に応じる。

ウ 質問の受付

本業務に関する質問については、令和元年10月10日（木）までに、FAX 又は Eメールにて申し出ること。

※ 質問期間終了後速やかに京都市情報館ホームページにて回答する。

**(3) 応募書類**

ア 応募申請書（第1号様式）

イ 応募者の概要がわかる資料（任意様式）

ウ 企画提案書（任意様式）

(ア) 本業務の実施体制を示すこと

(イ) 実施計画書案を添付すること

※ 実施計画書案の内容は、以下 a～c を想定している。

a 実施する森林整備の概要

b 森林整備のエリア分け図（位置図，航空写真，現地写真等を用いること）

c 各エリアにおける森林整備の内容（植栽や防鹿対策等の手法や概略図，数量）

(ウ) 案内表示板の規格デザイン案

エ 類似業務の実績一覧（第2号様式）

オ 受託希望金額に関する見積書（任意様式）

カ その他提案者が必要と判断した書類（任意様式）

**(4) 提出部数**

正本1部，副本7部

---

**7 受託候補者の選定**

**(1) 選定方法**

受託候補者の選定に当たっては、「京都三山の森再生業務受託候補者選定委員会」（以下「選定委員会」という。）を開催し、「令和元年度京都三山の森再生業務受託候補者審査基準」に基づき、応募書類の内容について審査及び評価を行い、最も優れた提案を行った者を受託候補者として選定する。応募者が1者であった場合は、採点結果が一定点数（平均60点）以上であり、かつ選定委員会において本業務の受託候補者として適切と判断された場合、受託候補者として決定する。

**(2) 評価項目（かっこ内は基準点。100点満点）**

ア 本業務の実施体制が十分にあるか（10点）。

イ 実施計画書案における森林整備の内容は適当であるか（50点）。

ウ 案内表示板の設置が適当であるか（10点）。

エ 提案内容に、その他の卓越したアピール点があるか（10点）。

オ 過去の業務実績が豊富か（10点）。

カ 見積書の金額は適当か（10点）。

**(3) 受託候補者の決定**

応募期間終了後、14日以内に受託候補者を決定し、参加者全員に選定又は非選定の結果を通知する、また、参加した事業者及び評価点、契約の相手方を選定した理由を京

都市情報館に掲載する。

#### (4) 企画提案書の無効

次に掲げる事項に該当する場合は、応募書類を無効とし、選定の対象外とする。

- ア 「5 応募資格」に掲げる資格を有しない者が応募書類を提出した場合
- イ 応募書類に虚偽の内容が記載されていた場合
- ウ 見積金額が契約予定金額を超えていた場合

## 8 委託契約

---

### (1) 契約時期

令和元年11月

### (2) 契約期間

契約締結の翌日から令和2年3月19日（木）まで

### (3) 契約予定金額

上限12,085千円（消費税及び地方消費税相当額を含む）

### (4) 提出物

- ア 実施計画書 一式（森林整備実施前に提出すること）
- イ 実施計画策定マニュアル 一式
- ウ 出来形数量表及び完成図 一式
- エ 業務写真帳 一式
- オ その他本市が必要とする書類

### (5) 留意事項

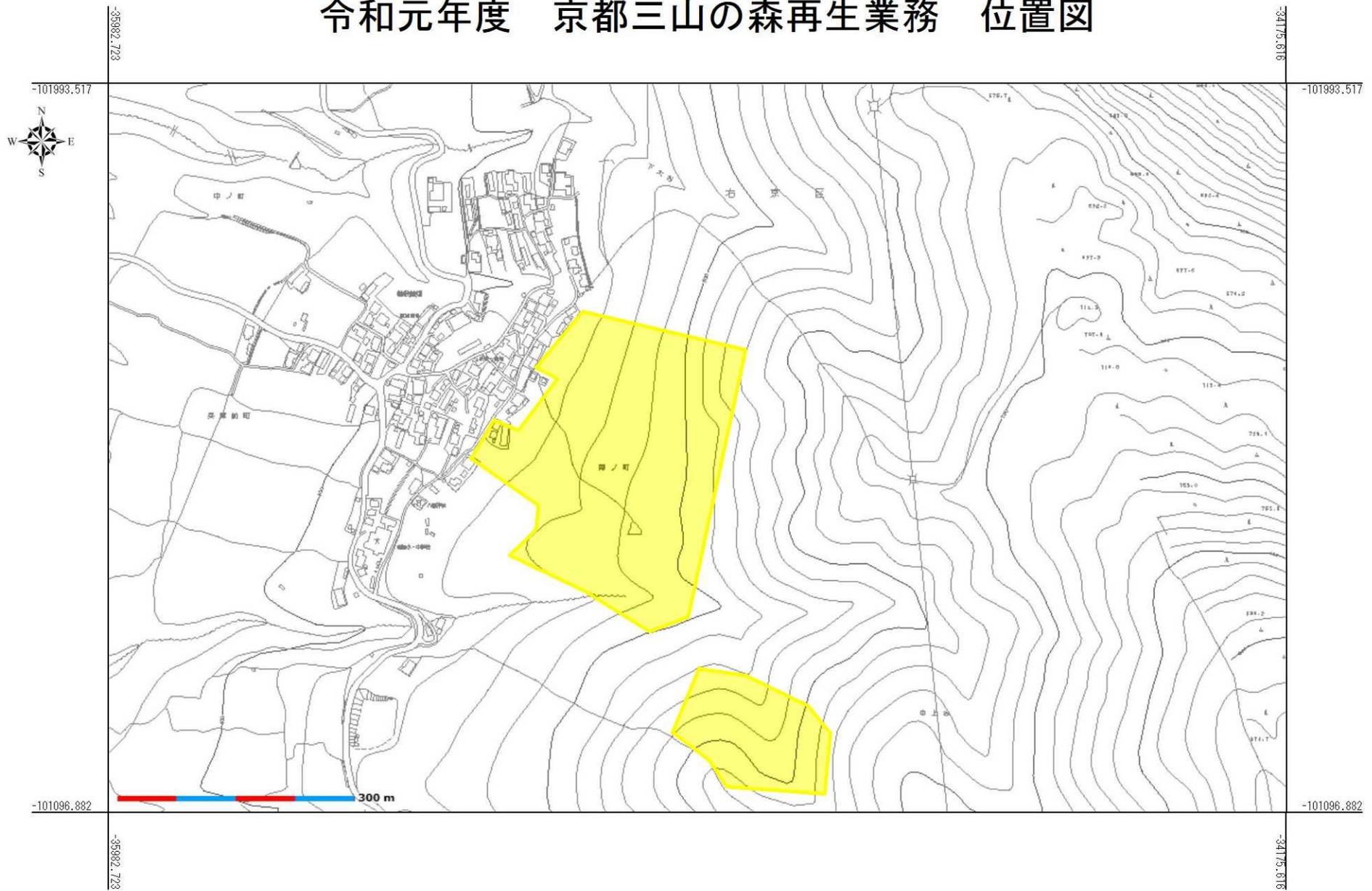
- ア 本市担当職員との連絡を密にして業務を実施する。
- イ 業務の進捗については、本市担当職員と協議し、その指示に従う。
- ウ 本業務の実施により得られた成果は、本市に帰属する。
- エ 本業務の受託契約の締結及び実施に際しては、本市との協議によって業務内容の組み換えを行うことがある。
- オ 本業務の仕様書に疑義が生じた場合は、本市担当職員と協議し、その指示に従う。

## 9 その他

---

- (1) すべての応募書類の作成及び提出に関する費用は、応募者の負担とする。
- (2) 公募手続において使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。
- (3) 提出期限以降の提出には応じられない。
- (4) 提出された応募書類について、必要に応じ、電話又は面談等で内容を確認する場合がある。
- (5) 応募書類は受託候補者の決定のためのみに使用し、他の目的には使用しない。ただし、公文書の公開請求による公表等、必要な場合には、企画提案書等の内容を本市が無償で使用できることとする。
- (6) 応募書類は理由の如何に関わらず返却しない。
- (7) 質問は、開庁時間内において随時受け付ける。

# 令和元年度 京都三山の森再生業務 位置図



第1号様式

## 応 募 申 請 書

令和 年 月 日

(宛先) 京 都 市 長

住所又は所在地  
商号又は名称  
代表者氏名

印

下記の件に係る公募について応募申請します。  
なお、添付した書類については、事実と相違ないことを誓約します。

### 記

- 1 件名  
令和元年度京都三山の森再生業務
- 2 添付書類
  - (1) 応募者の概要がわかる資料
  - (2) 企画提案書
  - (3) 類似業務の実績一覧（第2号様式）
  - (4) 受託希望金額に関する見積書
  - (5) その他提案者が必要と判断した書類
- 3 本提案に関する連絡先
  - (1) 担当者役職・氏名
  - (2) 電話番号
  - (3) FAX 番号
  - (4) Eメール

第2号様式

同種・類似業務の主な実績一覧

委託機関名	業務の名称	受託金額	業務の概要

※ 用紙に収まりきらない場合は、同様形式で追加してください。

※ 業務概要欄に、受託年度を記載する記載してください。